

待機児童解消に向けた 取り組み

平成28年12月9日
松戸市子ども部幼児保育課

— 目次 —



- 1 松戸市の概要
- 2 待機児童等の状況と対策
- 3 松戸市の取組事例

1 松戸市の概要



松戸市の位置と性格

松戸市は、千葉県北西部に位置し、北側は柏市・流山市に、南側は市川市に、東側は鎌ヶ谷市に、西側は江戸川を挟んで東京都葛飾区・埼玉県三郷市に隣接しています。市域面積は61.38km²です。



松戸市の交通

松戸市は都心から約20km、電車で約30分の距離にあり、首都圏の住宅都市として発展を続けています。

市内をJR常磐線(営団地下鉄千代田線と相互乗り入れ)、JR武蔵野線、新京成電鉄、東武電鉄、総武流山電鉄、北総開発鉄道の6本の鉄道が走っており、市内に23の駅があります。都心へのアクセスが良いことから、東京都内への通勤者が多い住宅都市となっております。



国指定重要文化財戸定邸

観光

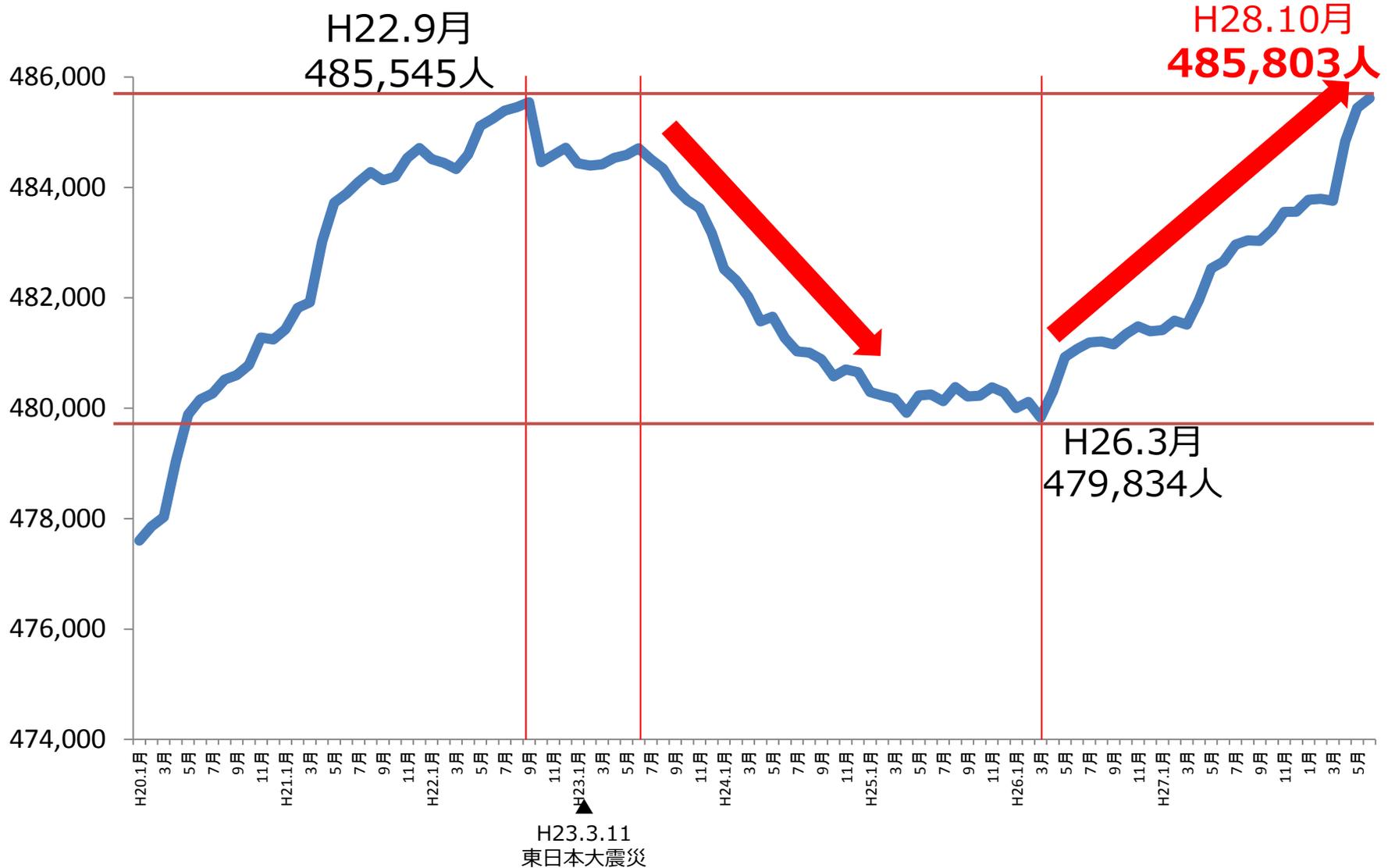
アジサイ寺で有名な北小金の本土寺、矢切地域では、伊藤左千夫の小説「野菊の墓」の舞台として知られている矢切の渡しなどがあります。

また、松戸駅近くには、国指定の重要文化財である徳川昭武の別邸として建造された戸定邸があります。

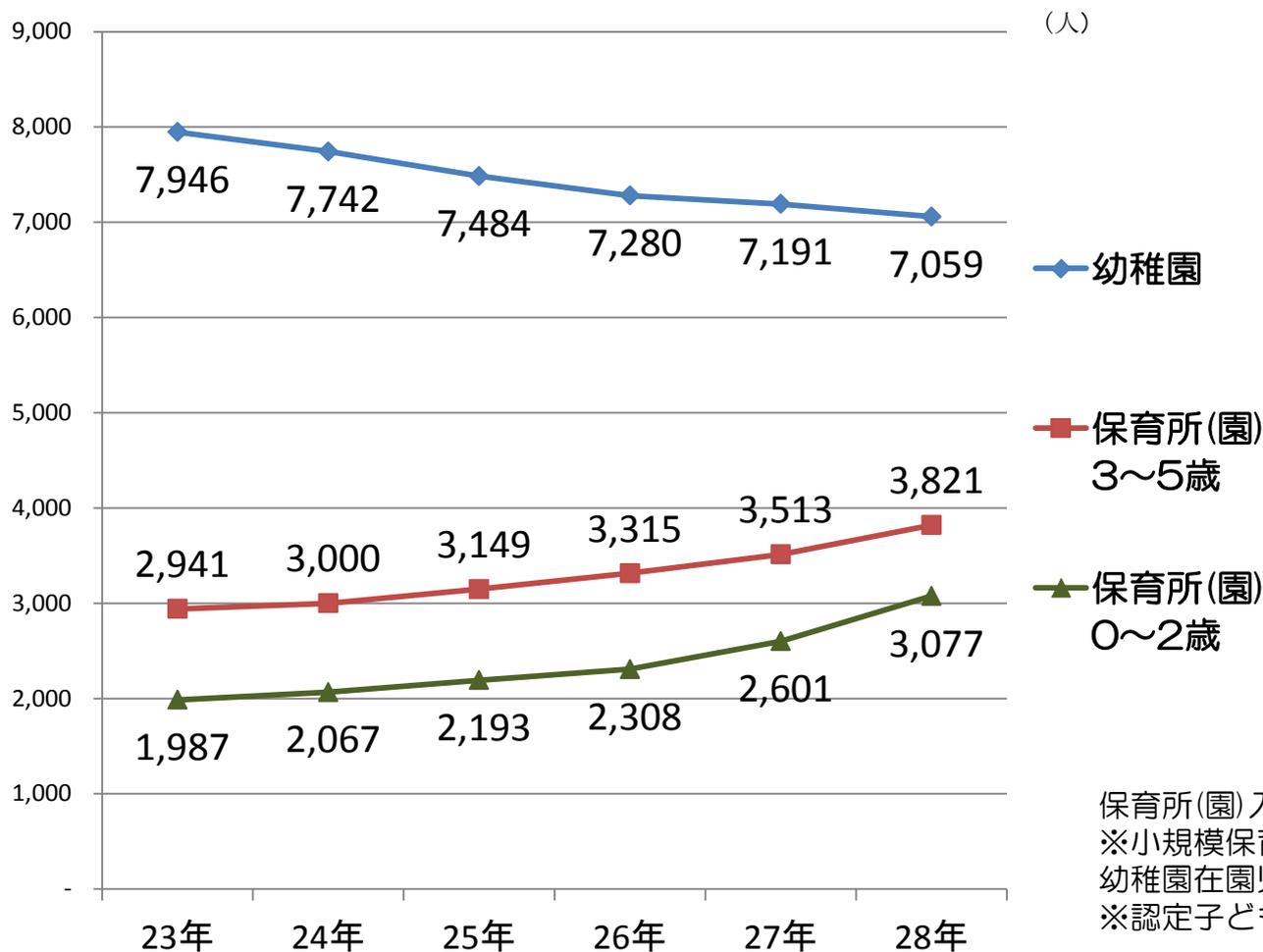


矢切の渡し

1-2 松戸市の概要 ～人口推移～



1-3 松戸市の概要 ～保育所(園)・幼稚園利用数～



| 施設 | 箇所 | 定員 |
|----------|-----|--------|
| 幼稚園 | 38所 | 9,655人 |
| 保育所 | 61所 | 5,974人 |
| うち公立 | 17所 | 2,044人 |
| うち民間 | 44所 | 3,930人 |
| 小規模 | 31所 | 485人 |
| 認定こども園 | 2所 | 130人 |
| 2号・3号定員計 | | 6,589人 |

保育所(園)入所児童：毎年4月1日現在
 ※小規模保育・認定子ども園含む
 幼稚園在園児：毎年5月1日現在
 ※認定子ども園(幼稚園型)含む

2 松戸市の待機児童等の状況と対策



平成27年4月

待機児童(国基準)

48人

入所保留児童

411人



平成28年4月

待機児童(国基準)

0人

入所保留児童

143人※

※うち特定園希望約45% 求職状況不明38%

その他育児休業中等17%

2-2 松戸市の待機児童等の状況と対策 ～検証～

待機児童・入所保留児童の年齢構成

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 |
|----|-----------|------------|-----------|----|----|----|-----|
| 待機 | 2 | 29 | 7 | 7 | 3 | 0 | 48 |
| 保留 | <u>45</u> | <u>174</u> | <u>78</u> | 75 | 31 | 8 | 411 |

入所保留の70%以上が0～2歳児

72%

28%

- ・ 自我の芽生え（イヤイヤ期）は、保護者に24時間かかる育児負担
- ・ 育児休業終了後の入所不承諾はキャリア喪失、収入減等生活困窮が懸念
⇒心の病・虐待・育児放棄へつながる危険性

待機児童・入所保留児童の地域性

- ・ 市内全域に散在
- ・ 松戸駅周辺に集中傾向あり



国待機・入所保留
いずれも同様の傾向

以上より・・・

**小規模保育施設の増設及び機動的な対応が可能な
公立保育所の受入枠拡大が最善策と判断**

2-3 松戸市の待機児童等の状況と対策 ～対策～

→ 平成27年10月1日から平成28年3月31日までに実施した事業

○入所保留児童の72%：0歳～2歳児対策

小規模保育施設の増設

⇒17か所開設（計31か所 県内トップ）

公立保育所分園設置及び増築

- ・ 近接する小学校内に分園設置（1か所）
- ・ 園庭等に保育室増築（5か所）
- ・ 備品設置、修繕等（全17か所）

○入所保留児童の28%：3歳～5歳児対策

送迎保育ステーション・認可保育所整備

- ・ 松戸駅前に送迎保育ステーション設置
- ・ 平成27年10月1日事業開始 ⇒ 新規園へ送迎

H27当初
認可保育所＋小規模で
472人分

9月補正予算



300～350の受入増

H27当初と併せて
約800の増

平成28年4月1日 待機児童ゼロ 達成

2-4 松戸市の待機児童等の状況と対策 ～今後～



○受入体制の確保

新規保育園の創設
(H28→H29 730人増)

既存資源の活用
(3～5歳児用)

小規模から幼稚園へ

0～2歳児用小規模保育事業の推進

- ・ 駅前駅中など利便性が高い場所へ設置
※平成29年4月45か所予定⇒すべての駅前駅中へ
15人×14か所=210人

幼稚園預かり保育事業の拡充

- ・ 預かり保育未実施園へ働きかけ
- ・ 利用者への利用料補助と幼稚園への人件費補助

0～5歳児用認可保育園の創設

- ・ 平成29年4月に開設予定(4か所×90人=360人)
- ・ 平成28年度中に開設済(2か所90人+70人=160人)

送迎保育事業の継続実施

- ・ 松戸駅前の送迎保育ステーションから、3～5歳児室に比較的余裕がある認可保育園へバスで送迎

3～5歳児用保育所の建設(85人)

- ・ 小学校跡地を活用し公私連携型保育所を建設
(H29.4開設予定)

2-4 松戸市の待機児童等の状況と対策 ～今後～

○保育の質の確保

(仮称)松戸市版保育の質ガイドラインの策定

- ・市内各施設の睡眠中の保育環境、沐浴・プール遊びの体制、災害時の避難等危機管理等の調査を実施し、調査結果に基づく危機管理体制の強化を図るとともに、保育の質の向上を目指した総合的なガイドラインを策定する

重大事故防止への対応

- ・睡眠中の事故のほか、水の事故、アレルギー、誤嚥窒息等を含めた重大事故を未然に防止するため「重大事故防止点検表」を作成し、巡回相談時に活用

利用支援コンシェルジュの活用

- ・「小規模から幼稚園へ」を円滑にマッチングするためにきめ細やかな相談業務を実施
- ・小規模保育事業施設の保育の質の確保を図るために、巡回による相談・助言等を実施
⇒平成28年6月より開始 上記「重大事故防止点検表」を活用

保育士確保対策事業の実施

- ・保育士資格取得支援事業、保育体制強化事業、保育士宿舎借上事業等の各種保育士確保対策を実施（H28年度当初予算）

3-1 松戸市の取組事例

(保育所等の建設にかかる用地確保と地域住民との調整)

・需要の高い地域への保育所建設・小規模保育施設設置を公募

- ・事業者が用地の用途をつけて市へ打診
- ・市でも保育所整備嘱託職員(市採用)を活用し物件探し
⇒必要に応じて事業者へ情報提供



・選考会議にて事業者決定



・事業者、建設・工事会社との協議

- ①事業者から町会へ説明するよう指示
- ②隣接住民への対応・説明に関してきめ細やかに指示
(物件により小規模保育施設も)
- ③交通安全、防犯、騒音等への対応に関する要望等を聞き取り、設計見直し等への反映も考慮
- ④工事着工時の現場監督配置と現場周囲への配慮状況を確認
- ⑤開園後も隣接住民をフォローする関係づくり



3-2 松戸市の取組事例

(小規模保育事業の推進による0～2歳児受入拡大)

小規模保育事業の推進

H27.4月8所⇒H28.4月31所⇒H29.4月45所(予定)

背景

本市の保育需要の特性

- ・利便性の高い駅周辺に集中傾向
- ・市内に広く散在

小規模保育事業の利点

- 速効性・・・着工～開設が早い
- 適応性・・・商業地域等にも整備可
- 経済性・・・低コストにより撤退の影響小

小規模保育事業推進の課題

- ・3階以上の物件多数
- ・老朽化(新耐震基準以前)
- ・子育て関連施設が入ることへの入居者の理解
- ・ランニングコストへの懸念
- ・連携施設の確保

保育所整備嘱託職員の活用

事業の適性を満たす物件の確保

- ・2方向避難経路の確保
- ・新耐震基準をクリア など

事業運営シミュレーション

市単独補助も含め、類型・定員数等の条件を設定して様々なシミュレーションを提示

連携施設の確保

市から民間保育園運営法人に対して積極的に要請

3-3 松戸市の取組事例

(国補助事業と市単独事業による人材確保)

新規採用者獲得策

- ・保育士宿舎借上支援業務(保育対策)・・・保育士宿舎借上げ支援事業を活用
- ・保育士就職支援業務 **市単独** ・・・新卒者へ就職準備金を貸付け

在職者定着策

- ・保育施設従事者支援補助金 **市単独** ・・・勤続年数に応じた処遇改善
- ・保育支援者設置補助金(保育対策)・・・保育体制強化事業を活用
- ・保育士支援業務 **市単独** ・・・永年勤続表彰を実施

経験者獲得策

- ・保育士資格取得支援業務 **市単独** ・・・資格を持たず支援者等として勤務する者を対象として、保育士試験による資格取得を支援 ※保育対策の保育士試験による資格取得支援事業を市単独で実施